



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下内 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	67,723	△2.0	107	356.6	△46	—	△86	—
2023年2月期第3四半期	69,118	△7.1	23	△98.8	△81	—	△29	—

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 △15百万円 (—%) 2023年2月期第3四半期 3百万円 (△99.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	△3.76	—
2023年2月期第3四半期	△1.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	67,955	26,110	38.4	1,136.71
2023年2月期	64,961	26,585	40.9	1,157.37

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 26,110百万円 2023年2月期 26,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年2月期	—	0.00	—		
2024年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	0.0	500	58.7	300	91.2	200	84.2	8.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社OSCあまいけ、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	23,354,223株	2023年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	383,501株	2023年2月期	383,501株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	22,970,722株	2023年2月期3Q	22,970,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年11月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、入国者の水際対策も解除となるなど、国内の経済活動は正常化に向かっておりますが、円安のほか、ウクライナ情勢の長期化を起因としたエネルギーコスト及び原材料価格の高止まりとそれに伴う物価上昇により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

小売業におきましても、食料品価格や電気料金など様々な価格の上昇が相次いだことによる消費者の生活防衛意識の高まりとともに消費者マインドが低下しており、節約志向が一段と高まるなど厳しい環境が続いております。

このような状況の中、お客様のニーズに応えるべく様々な施策を継続しつつ、業容の拡大に向けて営業活動を行ってまいりました。

食品分野におきましては、当社ならではの価値観と独自性のある商品を提供することにより店舗の魅力を高め、店舗規模に応じた商品構成への転換を進めながら作業効率の改善を図ってまいりました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えにより、季節や地域のお客様のニーズに対応できる売り場づくりを進め、売場構成の見直しも伴う改装を行うなど、既存店舗の集客力の向上に努めてまいりました。

専門店分野におきましては、ペット専門会社の㈱ユアペティアでは、ゆりかごから旅立ちまでをコンセプトに、安心安全をベースとしたオリジナル商品の開発・販売とともに、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターと連携した総合サービスのペットショップとして、ご来店いただいたお客様に高いご満足を提供できるよう接客サービスの向上に努めてまいりました。DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPOでは、職人さんにとって便利な店をコンセプトとし、プロのお客様のきめ細かい需要に応じてまいりました。自転車販売会社の㈱サイクルオリンピックと自転車企画製造会社の㈱OSCサイクルでは、独自商品を打ち出しながら、店舗では接客・修理技術のさらなる向上を図り、お客様に繰り返しご来店いただけるお店づくりに努めてまいりました。

上記の方針に基づきながら、厳しい経営環境の中でも新規出店を積極的に推進しており、3月にはディスカウントストア「Olympic亀有店」（東京都葛飾区）、食品とディスカウントの複合店「Olympic戸田店」（埼玉県戸田市）を出店するとともに、Olympic千葉東店を増床する形で「おうちDEPO千葉東店」（千葉県千葉市）、スーパーマーケットOlympic葛西店に併設する形でサイクル専門店「サイクルオリンピック葛西」（東京都江戸川区）を出店いたしました。

6月にはスーパーマーケット「Olympic森下店」（東京都江東区）、7月にはスーパーマーケット「Olympic西亀有店」（東京都葛飾区）を出店いたしました。

既存店につきましても9月にスーパーマーケット「Olympic熊野前店」（東京都荒川区）を業態変更によりリニューアルオープンするなど、新規出店だけではなく既存店の改装など、業容拡大に向けて積極的な営業活動を行ってまいりました。

また、11月に東京都多摩地区を中心として地域に密着した食品スーパー11店舗を展開する㈱あまいけの株式を100%取得し連結子会社といたしました。なお、㈱あまいけは㈱OSCあまいけに社名を変更しております。

経費面では、グループ全体を通じた店舗運営における作業改善による業務の効率化を進め、費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減を継続してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は677億23百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は1億7百万円（前年同四半期比356.6%増）となり、金利上昇等の影響もあり経常損失は46百万円（前年同四半期は81百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は86百万円（前年同四半期は29百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億94百万円増加し、679億55百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品、建物及び構築物が増加したこと、土地が減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ34億69百万円増加し、418億44百万円となりました。これは主に買掛金、借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億74百万円減少し、261億10百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期連結業績につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年4月13日付で公表いたしました2024年2月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年1月12日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,929	4,438
売掛金	1,370	1,709
商品	10,004	10,812
その他	1,693	1,501
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,998	18,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,670	13,288
土地	15,414	14,820
その他（純額）	2,236	2,548
有形固定資産合計	30,321	30,658
無形固定資産	1,365	1,578
投資その他の資産		
敷金及び保証金	13,980	14,065
その他	3,295	3,191
投資その他の資産合計	17,276	17,257
固定資産合計	48,963	49,493
資産合計	64,961	67,955
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,393	8,449
短期借入金	16,701	16,021
未払法人税等	109	117
賞与引当金	243	511
その他	2,613	2,996
流動負債合計	27,060	28,096
固定負債		
社債	—	84
長期借入金	9,219	11,597
退職給付に係る負債	19	20
資産除去債務	765	895
その他	1,310	1,150
固定負債合計	11,314	13,748
負債合計	38,375	41,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	6,908	6,362
自己株式	△293	△293
株主資本合計	26,391	25,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	265
その他の包括利益累計額合計	194	265
純資産合計	26,585	26,110
負債純資産合計	64,961	67,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	64,343	62,897
売上原価	42,291	41,717
売上総利益	22,052	21,179
営業収入	4,774	4,826
営業総利益	26,827	26,006
販売費及び一般管理費	26,803	25,899
営業利益	23	107
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	10	14
協賛金収入	20	—
その他	46	27
営業外収益合計	96	58
営業外費用		
支払利息	195	211
その他	5	1
営業外費用合計	201	212
経常損失(△)	△81	△46
特別利益		
固定資産売却益	—	151
投資有価証券売却益	—	12
特別利益合計	—	164
特別損失		
固定資産除却損	97	90
創業60周年費用	45	—
賃貸借契約解約損	—	17
訴訟関連損失	—	62
特別損失合計	143	169
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△224	△51
匿名組合損益分配額	△93	△87
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△131	35
法人税、住民税及び事業税	62	105
法人税等調整額	△163	16
法人税等合計	△101	121
四半期純損失(△)	△29	△86
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	△86

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△29	△86
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	71
その他の包括利益合計	33	71
四半期包括利益	3	△15
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。